

《予防接種の目的》

- ・第1の目的は個人の感染症の予防、第2の目的は社会全体の感染症流行の阻止です。
- ・ワクチンを接種することで、免疫(病気に対する抵抗力)をつくることで、発症を予防したり、症状を軽くしたりすることが出来ます。
- ・多くの子が予防接種を行うことで、集団免疫により社会全体の流行を抑えることが出来ます。(下図)



《主な予防接種の種類》

【ロタウイルスワクチン】ロタウイルスは乳幼児期に起きる感染性腸炎の原因ウイルスの一つです。発症する月齢が低いほど重症になるリスクがあります。

【B型肝炎ワクチン】B型肝炎ウイルスは、感染することで成人した後に肝硬変や肝臓がん、肝炎を発症するウイルスです。

【ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン】インフルエンザ菌は髄膜炎や菌血症など重篤な感染症を起こす菌です。インフルエンザウイルスとは異なります。

【肺炎球菌ワクチン】肺炎球菌はヒブと同様に髄膜炎や菌血症など重篤な感染症を起こす菌です。

【4種混合ワクチン】4種とは、ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオのことです。それぞれ重篤な感染症を起こす菌です。

【BCG】BCGは結核菌により起こる肺結核を予防するためのワクチンです。

【MRワクチン】MRとは、麻疹・風疹のことです。麻疹は感染力が強いウイルスで、集団免疫が重要となります。風疹は妊婦が妊娠初期に感染すると先天性風疹症候群という先天性疾患をもつ赤ちゃんが生まれる可能性があるため、子どももしっかり予防接種をしておく必要があります。

【水痘ワクチン】水痘は発熱とともに水疱性の発疹がでる水痘(=水ぼうそう)を起こすウイルスです。

【おたふくかぜワクチン】おたふくかぜは耳の下やあごの下にある、唾液をつくる耳下

腺・顎下腺に炎症を起こすウイルスです。

【日本脳炎ワクチン】日本脳炎は豚が持つウイルスを蚊が媒介となり感染するウイルスです。感染すると急性の脳炎を引き起こします。

【インフルエンザワクチン】インフルエンザウイルスは様々な種類があり、毎年流行するタイプを予測し、ワクチンとして接種します。そのため接種をしたからといって感染しないわけではないですが、感染した際に軽症化することが出来ます。

《2020年10月からの変更点》

- ・ロタウイルスワクチンが現在の任意接種から、定期接種に変更になります。
- ・ワクチン同士の接種間隔が変更となります。変更は以下の通りです。

《2020年10月からのワクチン接種間隔》



※注射の生ワクチン同士を27日以上あける以外は制限なし。

※同じワクチン(例えばヒブとヒブなど)の接種間隔はこれまでと同様に決まった間隔をあける必要あり。

《よくある質問》

Q.1 回目の接種で発熱しました。次回の接種はどうしたらよいのでしょうか？

A.初回の接種で発熱した場合、次回の接種でも発熱する可能性があります。しかし初回の症状が発熱のみで、その他の重篤な合併症がない場合は注意した上で2回目以降の接種は可能です。

Q. 予防接種した日にお風呂に入ってもいいですか、運動してもいいですか？

A.入浴は問題ありませんが、接種部位をゴシゴシするのはやめましょう。予防接種当日は、普段の生活は問題ないですが、激しい運動は避けましょう。

Q. 複数の予防接種を同時に接種しても問題ないでしょうか？

A.接種部位を重ならないようにしていれば接種は問題ありません。2ヶ月以降から予防接種が開始され、特に最初の半年は予防接種の種類が多いため、接種時期を遅らせないためにも同時接種は必要です。諸外国でも同時接種は一般的に行われています。

予防接種は子どもたちやその周囲の人達、

また未来の子どもたちを病気から守るために必要なことです。

不明な点がありましたら、いつでも小児科外来にご相談ください。